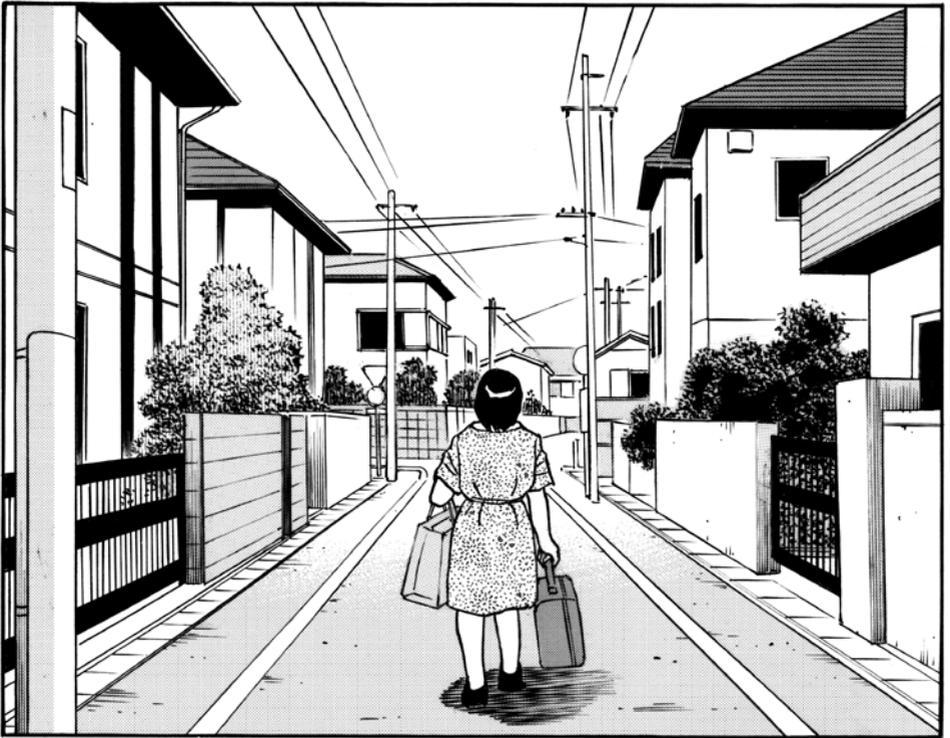
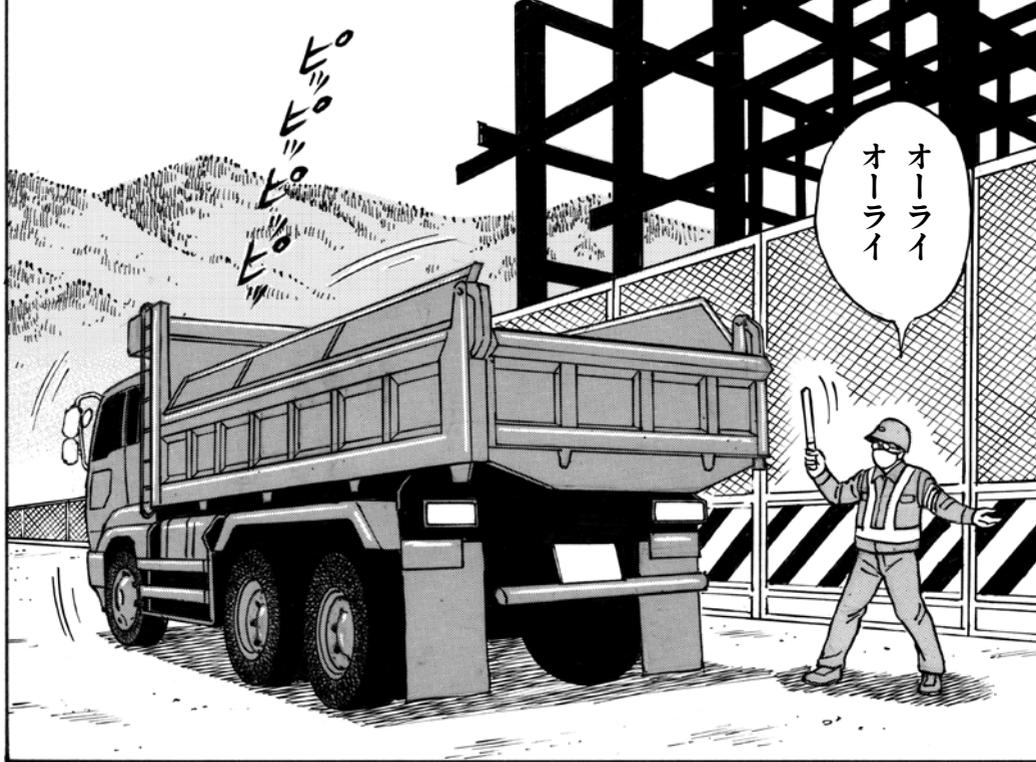


いち

バツ

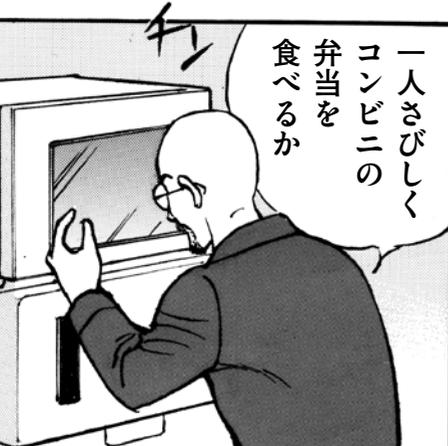
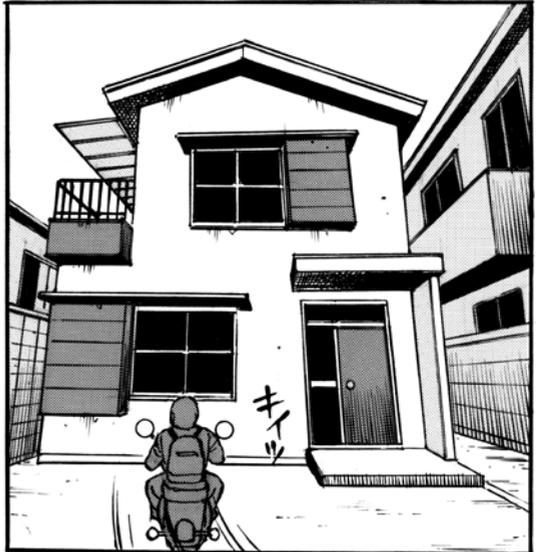
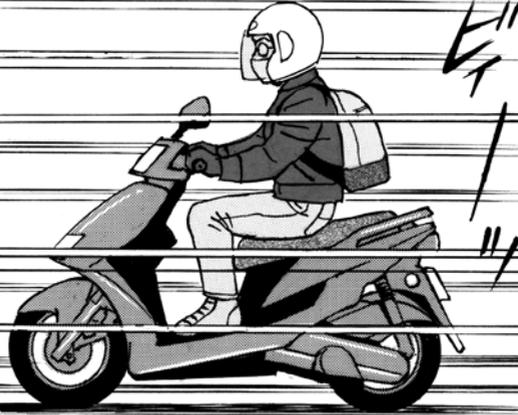


まきのまさる



わたし
牧田勝二(66)

2年前定年を迎え
今はバイトで建築現場の
誘導員をやっています



その夜

居酒屋 ママ

こんばん
はー

おっ
我らの
ヒーローが
やってきたぞ

いらっしやい
牧田さん

体温は
36.3度
正常です

何だよ
そのヒーロー
って

ママ
ビール

だって
離婚したん
だろ
我々
中年男性は
離婚したくても
なかなか出来
ないぜ

はい





いいニオイ

今日は私の好きなハンバーグじゃないですか

いいですねー



それは一週間前いつものようにバイトから帰った私は

ただいまー

殿のおかえりですよー

おかえりなさい

お食事になりますか？



いやまずお風呂に入ってくるよ



妻は少々無口で無愛想だが

その分私がおしゃべりでバランスがとれていると思っていた



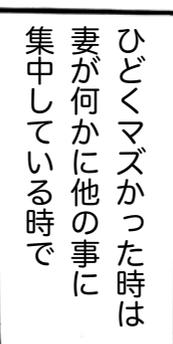
何も異常は感じなかった

極楽極楽

そもそも私達夫婦は見合い結婚で子供はいなく



ましてやブサイクで頭も悪く学歴もない私と結婚してくれた事に感謝している



あなた
ちよつと
お話しが
あるんですけど

ここ数日
妻がインターネットで
何か検索している姿や
ひんぱんに誰かと電話で
話してる姿を目撃していた
私は

は、はい
何でしょうか

なんだか
とてもイヤな
予感がした

私と
離婚して
下さい

離婚!?

えー

離婚届



だ
誰か
好きな人でも
出来たのか!?

声は
うわずり



な、なんだよ
おまえ
急に離婚
だなんて…

完全に私は
動揺していた



いいえ

ははは

そ、それじゃ
最近加齢臭が
強くなった
俺の事がキライに
なったとか

完全に
私は舞い
上がり



いいえ



なんだ
やっぱり
好きな人が
いたんじや
ないか

ちがいます



昔
お世話になった人の
介護がしたいんです



それじゃ



小学4年の時
両親が交通事故で
亡くなり父の祖母に
ひきとられた

いいかい由美
今日から
おばあちゃんと
一緒に暮らす
んだよ

うん

これは結婚した時
妻から聞いていたので
私も知っていた

祖母は
年金ぐらしで
生活は決して
裕福ではなかったが

行って
きまーす

行って
らっしゃい

愛情いっぱい
育ててくれた

しかし
いつしか
妻は

おい
見ろよ
あの子の
スカート

すげー
ツギハギ
だらけじゃ
ないか

イヤだー
私だったら
あんなスカート
はけない

学校で
イジメに
あっていた



そんな
ある日

ねえ
由美ちゃん
明日私の誕生会を
やるんだけど
由美ちゃんも来て

クラスの
女子から
誕生会に
さそわれた

えっ

何にも
気にしなくて
いいのよ
みんな集まって
おしゃべりする
だけだから

でも
私：

おねがい
由美ちゃんも
来て

それに
みんなにも
プレゼントは
持って来ない
でねって
言ってるから
安心して

ええ：

本当に
プレゼント持って
行かなくて
いいのかい!?

当日

うん
みんな何も
持って行かない
んだって

途中
道ばたに咲いていた
花を見つけた妻は

これなら
喜んで
くれるかな

小さな
花束を作った





そしてみんな
お誕生日会の
プレゼントを
持っていた



えっ!?



見ろよ
コイツ

こんな

雑草なんか
持って来て



これで
ごちそうタダで
食べるつもり
だぜ

えー
本当かよ
信じられない

由美ちゃん
ちよっとそれは
ないんじゃないの



ちよっと
みんなやめてよ

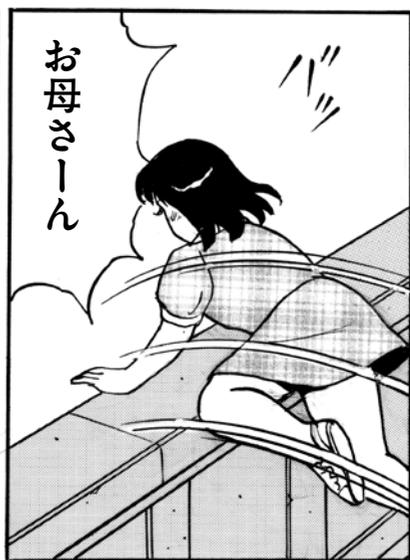
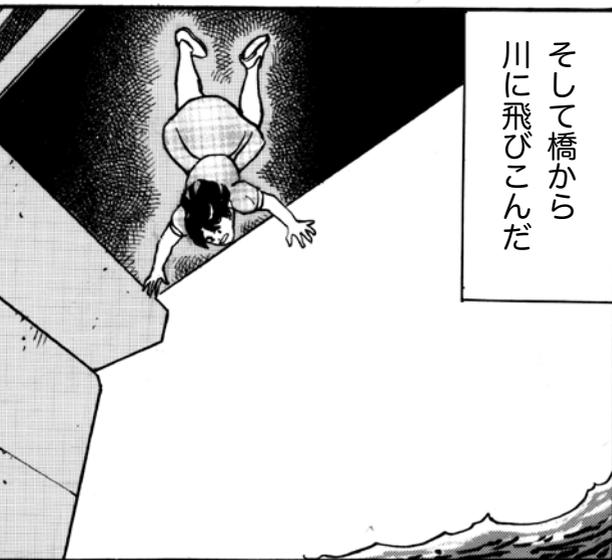
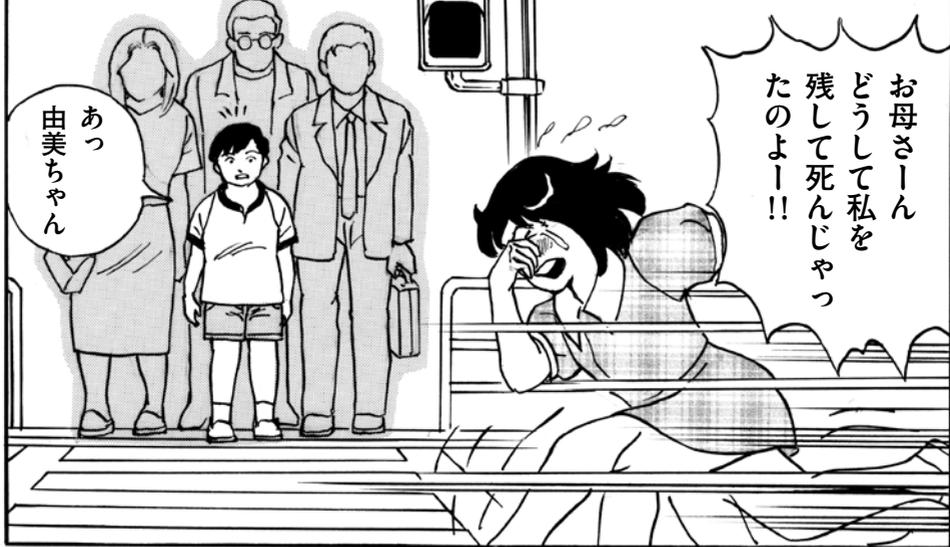
由美ちゃん家は
両親がいなくて
貧乏なんだから

あ
あの
私……



妻は
その場に
いたたまれず
飛び出し







妻はたまたま
通りがかった
クラスメートの
高橋くんを
助けられ

由美ちゃん!!



おはよう
由美ちゃん
元気か!?

うん

中学を卒業するまで
高橋くんには
あげまされた

卒業後 高橋くんは
有名な進学高校に入り
私達はもう会う
ことはなかった

ところが
昨年45年ぶりに
小・中学校の
同窓会が
あったでしょ

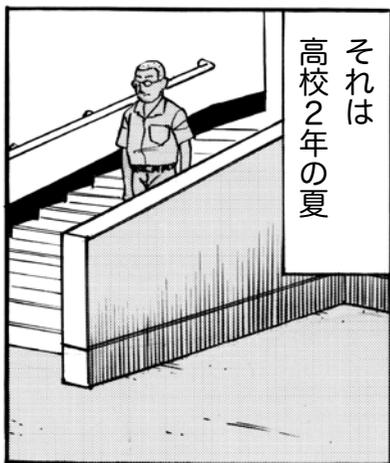
うん

そこで高橋くんが
奥さんと死別して
一人末期ガンと
闘っていると
聞いて

あなたに
ナイショで病院に
見に行つたの

高橋くん

そこには
さびしそうな
高橋くんがいた





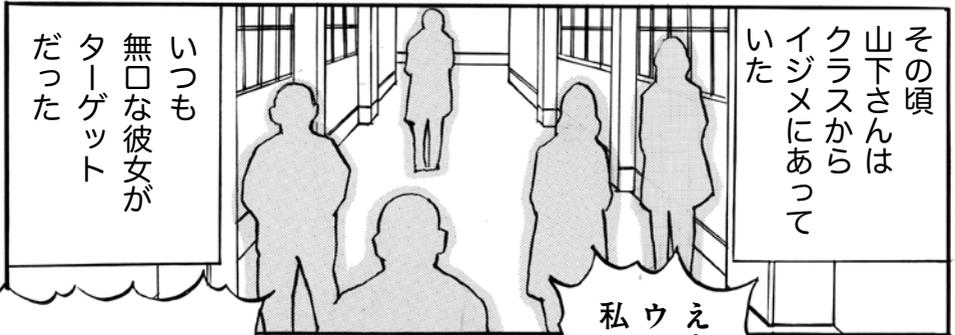
ありがとう

じゃあ



帰りは原チャリだからスリッパで大丈夫だから

よかったら俺のクツはいて行けよ俺足小さいから



その頃 山下さんはクラスからイジメにあっていた

いつも無口な彼女がターゲットだった



えー ウソでしょ 私のサイフがない

彼女の カバンから出て来た

山下さん どうして

あなたのカバンの中に私のサイフが入ってる訳!?



ある日 クラスの女の子のサイフがなくなり

ドロボーー あなた 私のサイフとったわね!!

ち ちがいます



彼女は 犯人に された

もちろん
僕は彼女が
犯人じゃないのは
知っていた

クラスの男子が
女子にたのまれて
山下さんのカバンに
サイフを入れてるの
を見たからだ



ウツ!!

この事を
チクったら
どーなるか
わかってるよな

うう…



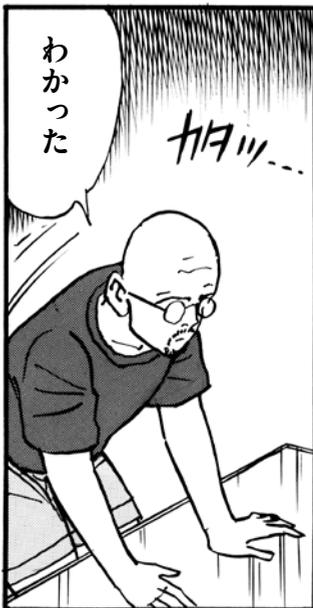
次の日
彼女は学校の
屋上から飛びおりた
(幸い一命はとりとめた)

私は暴力が怖くて
何も出来なかった
臆病者のヘタレ
男だ!!





私は
妻が用意した
離婚届に
サインした



わかった



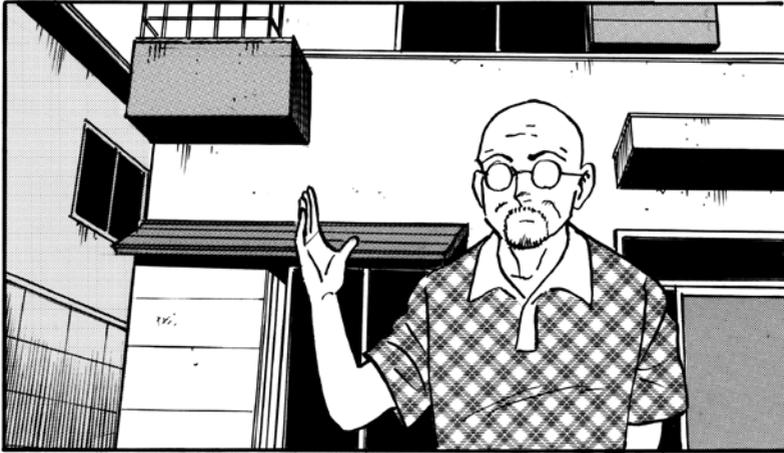
あなた
本当に
いいの



必ず
高橋さんの
最期をみとどけて
あげて下さい

今日まで
ありがとう

翌日
私は妻を
見送った



妻は
私にふかぶかと
おじぎをすると

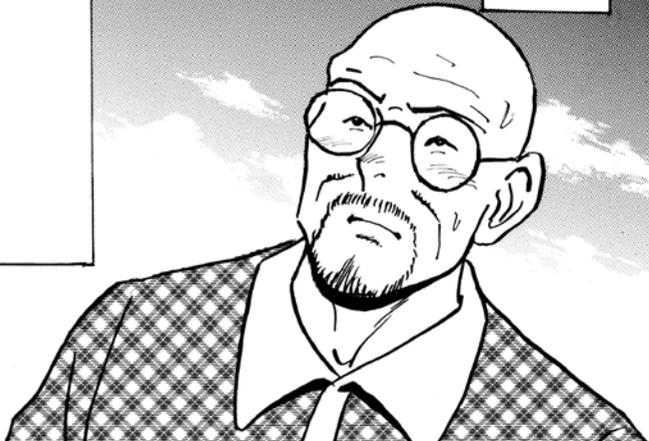


そのまま
家を出て
行った



そして
私は

妻よ
高橋さんの最期を
見送ったなら
また私のもとに
もどって来てほしい
私はいつでも
あなたを待っている
からと つぶやいた



バツ一 おわり